

Mr. Y の日記

先日 85 才になりました。去年は愛犬のチビ太郎が 19 才で亡くなりましたが人間に換算すると 100 才に相当するそうです(獣医の話)。そこで私も 100 才まで頑張ってみようと思います。何か新しい事をしようと考え、ブログを始めましたので気が向かれましたら覗いて下さい。

令和 7 年 3 月 4 日 認知症予防のため続けたいことは「ホームページ」を作成

し公開する」ことに加え「麻雀を復活する」更に「今まで通りデイサービスを続ける」などです。ホームページは作りましたが不十分なので気に入るものを作るべく努力中です。麻雀も10年振りにやりましたが、やはり旨く行かなかったです。

今、本を読んでいます。

令和7年4月3日

15日は近場へ退職者の会主催の旅行があり参加しまし

た。私の所属する支部からは 2 名。私と親友でもある H さ んとが皆
の後からついて行きました。そんなに疲れてはいな かったと思っていたの
ですが少し体調を悪くしました。今は元気に

なりましたが無理をす るものではないなとちょっとだけ反 省しました。

令和 7 年 4 月 17 日 麻雀をすることにし

ています。3 人は仲間がいますが 4 人打

ちをするので後 1 人を探していました。今日付き合っ 貰え

る人が見つか喜びんでいます。認知症予防の目的もあるので 定期的

にやりたいですね。2 か月に 1 回程度になりそう です。楽しみです。

令和 7 年 4 月 20 日

4 月は JP 退職者の会の旅行、役員会、メーデーなどがあっ

て、行事それぞれに意義があり良かったのですが少し疲

れましたね。しかし「飲み会」が楽しかったので、それで疲れも少しだけ和らいだなと思います。

5 月も「卒寿会」と言う飲み会もあり、麻雀もあるのでワクワクしています。

令和7年4月27日

85 才にもなると友達も同じような歳なので何かあると心配 になります。先日も二人の友達にメールを送信しましたが二日ほど返信がなかったので心配しました。結果は二人とも元気だったので安心しました。自分も含めて連絡の取り方を考える必要があるなと思います。

令和 7 年 5 月 3 日

今日も「あるケア」に行ってきました。参加者は五人で五か 月では最小でしたが進行がスムーズで早めに終了しました。 連休も今日で終わり。明日からは日常に戻ります。私たちには余り関

係ありませんが社会全体では動き始めると思い

ます。高齢者も頑張らなければ・・・

令和 7 年 5 月 6 日

明日は卒寿会「90 才まで生きようと言う会」で楽しみにしています。

参加者は 8 名となり久しぶりに会員全員がそろいます。食べて飲んで歌って 5000 円の店で 3 時間はかか

ります。楽しい会ですね。

令和 7 年 5 月 9 日麻雀をやる日が決まりました。

前は負けたので本を読んだり、役を暗唱したりと努力したのですが

思いがけない手を打つ人もいたので慎重に

対戦したいと思います。自分の手に固執する癖があるので

柔軟な発想を心がける積りです。

令和 7 年 5 月 14 日

15 日に体調を崩し 16

日に点滴を受け薬をもらいました。吐き気と食欲不振でデイ

サービスも休みました。100 才まで頑張るつもりですが少し

怪しくなりましたね。17 日にはほぼ回復しましたので 19 日の幹事会

は大丈夫です。気を付けることになるのでかえって良

かったと思います。お互い気を付けましょう。

令和 7 年 5 月 17 日

体調が回復せず、19 日も病院へ。近くの内視鏡内科で 胃カメラ検

査と超音波による膵臓の検査を行いました。胃に

は明らかな腫瘍が一つあり細胞検査のため「細胞」を取

りました。後刻、結果が判明しますがどうでしょうか？ 痔臓のほう

は今まで指摘されていた内容と同じなの で大丈夫だと思います。今

は禁酒なのできついです。

令和 7 年 5 月 21 日

昨日は少し無理をしてディサービスに行きました。先日よりは調

子がよく安心しました。ビールも 4 日振りに飲みましたが、やは

りおいしいです。27 日もディサービス、28 日は麻雀を

予定しています。検査結果が気にはなりますがやるべきことはやっています。

令和7年5月24日

2か月振りに麻雀をしました。珍しく勝ちました。終わってからも

行くスタンドでカラオケを歌って帰りました。楽しい一日でした。

令和7年5月28日

今日はカレーを作りました。毎週の日曜日にカレーを作るのですが明日は集会があって出かけるので繰り上げて今日にしました。レシピも頭に入っているので簡単に出来ます。かなりの料理が作れます。横着をしてカレーにしています。ボツボツ別の料理に切り替えたいと思っています。

天婦羅か煮魚か煮しめか、そんなところでしょう。

令和7年5月31日

今日は MRI で膵臓の検査を行いました。結果は
6 日に判ります。胃カメラで細胞を取っているのも同日に結論が出るので楽しみにしています。そうは言っても両方とも悪い結果になるときついですね。しかし「ネアカ」なので頑張れると思います。

令和 7 年 6 月 4 日

MRI 検査では「膵臓の送管が細くなっているように見える」とのことで膵臓専門の「科」で再検査するようお達しがありました。明日「県立広島病

院」に行きます。以前から指摘されていることなので
大丈夫とは思いますが・・・

令和7年6

月9日

10日に検査に行きましたが検査の方法を聞き採血をし
ただけで帰りました。検査は16日と決まりました。
やはり膵臓に何らかの異常があるようです。

次の検査では今までに経験したことのない方法で行う
ようです。麻酔をかけて超音波検査

に胃カメラ撮影をミックスしたもののようです。

令和7年6月13日

16日に胃カメラ検査とCT撮影を行い今日検査結果全
てが判明しました。15年前から指摘されていた「慢性
膵炎」と診断されました。今のところ大丈夫なのです

が膵臓の病気は進行が速いので年明けに検査するよう
勧められ1月13日に

CT検査を予約して帰りました。

今回は膵臓癌の疑いから検査が始まりました。

胃カメラ検査2回、MRI検査1回、CT検査1
回、超音波検査1回。検査費用だけでも相当掛
かりましたが徹底的に検査して良かったと思
います。

100才を目指すのも無理かも知れないと一時は思いま
したが大事にならずに一安心です。 令和7年6

月17日バタバタした2週間でしたがやっと落ち着き
ました。改めて100才を目指して頑張っていこうと思

います。それにしてもイスラエルのイラン核施設への攻撃に続きアメリカの同様な攻撃は許されるものではありません。ノーベル平和賞を切望するトランプですがもっての外の行為です。それにしてもと続けたいのですが、鳩山由紀夫という男は何という間抜けな男なのでしょう。

中国の「駐日大使」との話の中で一つの中国を主張する駐日大使の言葉に対し「同意する」と言っています。総理の時には「沖縄の米軍基地」を県外に移すと発言し輦蹙をかいました。こんな男が国会議員であることが恥ずかしくなります。 令和

7年6月22日

梅雨が明けたと聞きびっくりです。同時に夏の暑さが思い出されうんざりもしました。なるべく日陰を選び水分を補給して頑張りましょう。

令和7年6月28日

昨日は久しぶりに広島県退職者連合の仲間と飲み会をしました。会議ではしないような話をして楽しかったです。梅雨明けは結構なことですが何と暑い事でしょうか。1000歩がしんどいです。会議中は冷房が効きすぎて寒かったです。こんなことでは調子が狂います

令和

7年7月2日

参院選が公示され 20 日の投票日に向けて舌戦が始まりました。政党が乱立しどこがどうなっているのか整理しないと混乱しそうです。ワンフレーズで有権者の心を掴もうと必死になっています。

本当に実現できるのか?そのプロセスは?と聞きたくなります。悪く言えばアイドルの人気合戦の様子を彷彿とさせます。心地よいワンフレーズに飛びつくような社会で良いのでしょうか。政治には力(数)と実績の積み重ねが欠かせないと思います。数名が

3 倍になったとか 4 倍になったと言って大慌て(喜びすぎ)ではないかと思うのですが皆さんは如何ですか。

令和7年7月13日先日、「フロントライン」という本を読みました。2年前から読書にはまり、ダンボール箱がすぐにいっぱいになりました。ブックオフで引き取って貰えるので邪魔にはなりませんでした。東野圭吾の作品は殆ど読破したので今時点では読む本がありません。松本清張、池波正太郎、司馬遼太郎の作品も数多く読みました。本屋大賞に選ばれた作品は全部読みました。現在は堂場瞬一の刑事ものを読んでいるところです。余談が過ぎましたがフロントラインの話に戻ります。作者は、増本淳で脚本家・ドラマや映画のプロデューサーです。物語(と言うよりノンフィクションに

近い)は2020年2月に新型コロナウイルスの陽性者を乗せたクルーズ船・ダイヤモンド・プリンセスが横浜港に着岸したことが舞台になっています。テレビ局の女性記者・上野は事件に関わっていくのが事が

態はドンドン変わり感染者も増えていきます。

3700人を乗せた船の乗員は全員隔離されています。感染者の治療・感染者を病院に搬送する手配・事態の收拾のため医師・看護師・政府関係者が乗船し、自分が感染するかもしれない危険な状況にも関わらず命がけで「こと」にあたります。それらの状況を知ることにより上野は今までの自分の報道姿勢に疑問を持ちます。私も読んで今までのマスコミ報道の受け止め方を反省しました。

裏にある事情、身を切る献身を知り感動しました。これからはマスコミ報道を鵜呑みにせず、縦や横も考えて受け止める事にします。

令和7年7月14日参院選が終わり自公が過半数を確保することが出来ませんでした。参政党という訳の分からない政党が伸びましたが外国人対策、憲法草案などを見るとメチャメチャです。草案では国民の要件を満たすのに「誓約」を求める、国民主権が明記されていない、人権条項がないなど容認しがたい部分が多くあります。自民党より「右寄り」です。議員の中には「核兵器」を認める「推奨する」発言をした者

もいます。時間が経つにつれて徐々に正体が明かされ
ると思います。

注視していきましょう。

令和 7 年 7 月 24 日

参院選の結果を踏まえて各党は色んな発信をしています。特に自民党は石破おろしを主張する者と続投で良いとする者との激しいやりとりを繰り返しています。

石破おろしを主張しているのは主に裏金議員と旧安部派の連中です。自民党の敗北の主たる原因は自民党の体質・裏金問題・アベノミクスの失敗にあります。

落選したのは裏金議員と旧安部派が多くを占めています。彼らが敗北の原因は石破総理にあるというのは可笑しいことです。国民もだんだん真実を理解するよ

うになっておりアンケートでは石破続投支持が 80%
に達していますし、自民党の支持者でも 70%が石破
続投を認めています。石破おろしの

連中

は

「世論が許さない」と言っているようですが許され
ないのは裏金議員と旧安部派の連中です。

2025. 7・29

暑いですね。昨日は散髪に行きましたが少し歩いた
だけで眩暈がしました。気候不順でどうなるかとの
懸念はありますが早く9月が来ますように願ってい
ます。31日には地域包括支援センターの担当者(わ

たしの)の訪問があり、かなり多くのことを聞かれました。

今、要支援2なので週2回デイサービスに通えますが要支援1に格上げになりますと週1になります。

「良くなった」との評価がされるのでしょうか。

私は週2が一番良いと思っていますのですが、いずれ査定結果が出るのでしょうか。

2025・8・3

先日、夫婦揃って体調を崩し、新型コロナではないかとの疑問を抱き薬局で検査キット2本を買って検査しました。二人とも「陰性」と判り一安心。5類に下がっているとは言え感染者は2020年より増加しています。重傷者が減少しているので気にならないのですかね。バスや電車、病院ではマスクを着用

すべきです。頭にくるのは外国人がマスクをしているのを見たことがない事です。日本にいるのだから日本の風習に従って貰いたいものです。日本人ファーストを唱える参政党に口実を与えることにもなりかねません。

どこに抗議すればよいのでしょうか？

2025・8・9 弟と昔

(小学生、中学生)の話をやり取りしていますが思い出が沢山あることに気づきました。今までは昔のことを思い出すこともなかったのですがピンポイントで昔のことが思い浮かびます。なにしろ 85 年間のことですから言えば切りがありません。今後は順を追って述べる努力をしてみます。

2025・8・15

腰が痛く右足がしびれるので目の前にあるクリニックでX線やMRIの検査をしました。「椎間狭窄症」と「椎間板ヘルニア」との見立てです。院長が不在だったので27日に行って話を聞くことになっています。

そ

の時に今後の方針も明らかになるでしょう。

2025・8・24

27日に病院に行きましたが院長不在で詳しい指導はなく、痛み止めの薬を貰っただけでした。薬が効いているのか日常生活には支障がありません。何とか頑張ります。

2025・8・30

少し動くと右足が痛くなり痺れも来ます。シャワーを浴びても同じように腰と右足が痛くなります。今のところは自分のことは自分で出来るので良いのですが、これ以上悪くなるとヤバイです。病院を変えることも考えています。

2025・9・5

9月13日に「卒寿会」を開催。7名が集まり食べて飲んで歌って楽しみました。政治の話・病気の話などで盛り上がりました。最後は歌合戦をして終わりました。こんな会は日常の生活を豊かにしますし、認知症予防の爲にもなりますので継続していきます。個人的には脊柱管狭窄症と椎間板ヘルニアになり苦勞しています。少し動くと痛くなります。

すので大変です。今はブロック注射と痛み止めで症状を抑えていますが最終的には手術をするしかないようです。当分の間は通常治療に頼ります。その上で考えようと思います。

2025・9・13

ドキュメントを開くと、きちんと表示されるのですが何故か判りませんが9・20と9・28のものが抜け落ちています。心房細動の疑いが少しだけですが「ある」とのことで1週間検査でメーターを付けているので少し痒いです。8日までなので辛抱しま

す。100才まで生きようとの思いで「卒寿会」に参加したり、HPを開設したりと「いろんなこと」

をやっていますが病気の方は待ったなしです。それを乗り越えていくには「気力」も必要なので大変ですね。「あと 15 年頑張ります。」と人に言えば言ったことに責任を持つことになるので「どんどん」吹聴しまくります。

16日には三次へ行き、旧友と会って語り合う(実際は飲み会)ことを予定しているので楽しみです。

2025・10・3

公明党が 26 年間続いた「自公連立政権」から離脱しました。政局を一変させる出来事です。高市自民は窮地に立たされ総理指

名選挙での「高市総理」誕生も危うくなっています。しかし、政権交代の絶好の機会なのに野党は纏まっていません。

自党を守り発展させる、自党の影響力を高めることばかりを考えているので纏まりません。国民民主党の玉木代表は「総理になる覚悟は出来ている」「立憲民主党とは、原発問題と安保政策で隔たりがあり、そこで一致しないと協力出来ない」と述べ立憲に方針変更を求めています。傲慢さここに極まれりとも言える発言です。この二点が立憲と国民民主に分かれている原因の最た

るものですから一致することは無いと言っ
ても過言ではありません。政局を断じること
は現時点では無理ですが、政権交代の絶好
の機会を逃さないで貰いたいと多くの人が
望んでいると思います。今は状況を見守り
たい。

2025・10・11

旧友の集まり(飲み会)があり、三次に行きま
した。5人なので人数は少ないですが昔話で
大いに盛り上がりました。皆さん元気そうで
こちらにも力を貰いました。三次駅からも遠く

「良く住んでいるな」と思うほどの風光明媚な場所で、一泊させて頂き、お互いの健勝を祈り、再会を約束して別れたところです。

2025・10・18

ディサービス(あるケア)で空いた時間には本を読んでいるのですが、それを見て「そんな文庫本が良く読めますね」と言われました。

「日頃掛けてしている眼鏡では読めないなので老眼鏡を掛けているんですよ」と返事をしたのですが「私は90才なので小さい字は読めない、写真や絵の入ったものが好きだ」と言っておられました。その人は足が少し不自由そうですが頭はしっかりしておられ、話もスム

ースにされます。私も 90 才になって「頭がしっ
っかりしているか?」と問われると自信がな
いです。

2025・10・25

ここ最近腰は余り痛くないのですが、
20 年前から患っている「左右の膝の半月板損
傷」は回復しておらず痛い。「あるケ
ア」では足の不自由な人が数名おられます。
原因は聞いていません。恐らく私と同じよう
な事ではないかと思えます。一緒に頑張りた
いですね。11 月 8 日は舟入の「シムラクリニ
ック」で診察を受けます。その後「卒寿会」
を開きます。今年最後の「会」なので盛大に
やろうと思っています。私は 85 才なので何
とか「セーフの判定」を得る積もりです。他
の人は皆若いので大変ですが、私も最終的に

は 100 才を目指していますので、90 才になっても 10 年間は 90 才を目指し人と一緒に頑張ります。認知症が怖いですが予防の爲のメニューがありますので、それを実践します。例えば「あるケア」への通所を継続したり、HP を充実させたり、人の集まりには積極的に参加したり、度々脳検査をしたり、読書も続けたり等を行うことが大切だと思います。先は長いですが「のんびりと真面目に？」過ごせば、100 才は可能です。

2025・10・31 大相撲を観ていたのですが、東北で地震があり、ラジオを含めてNHKは全てそのニュースを流したので大相撲の中継は中断されました。仕方ないのでフジテレビの「皇室のこころ」という番組を観ました。皇室の「慰霊の旅」が紹介され、オランダ、インドネシア、モンゴル等を訪問した時の状況が映し出されていました。こうした慰霊の旅は今後必要だと思います。天皇制に対しては色々な意見があると思いますが、私は憲法に規定されている「象徴天皇制」は支持します。

戦後 80 年、平和が保たれてきたのは国民の「戦争を許さない」心があったことと同時に「象徴天皇制」があったからだと思っています。2000 年続く天皇制に対し国民は「それを認めている」・「リスペクトしている」と思うので、戦争を抑止する力になっているのでしょう。そういう面からも「象徴天皇制」は堅持すべきです。

2025・11・9

高市内閣の支持率が高いですが、それも今年一杯でしょう。何故なら高市総理は日本会議国会議員懇談会の構成員で副会長を務めてい

ます。日本会議は会員 38000 名で我が国最大の右翼団体です。国会議員懇談会には自民党の国会議員のうち 200 名以上、地方議員 2000 名以上が加入しています。酷い時は閣僚 20 名中 16 名が日本会議国会議員懇談会の会員と言う状況でしたし、高市内閣では確認できるだけでも 12 名がそうです。日本会議は靖国神社参拝、憲法改正、戦後教育の否定、「主権在民ではなく主権は国家にある」等を主張しています。そんな日本を「美しい国」と呼んでいるのです。高市総理の心には同じような考えが燃えているのだと推測します。スパイ防止法案の作成、台湾有事への対応と

して「存立危機事態」と認定すれば集団的自衛権の行使を辞さない発言、憲法改正、非核三原則の堅持を明言しない、国旗損壊罪の作成、靖国神社参拝に前のめり(今は参拝に慎重) 少しずつですが本性を現しています。通常国会になれば右翼的発想だけでは乗り越えるのは難しいと思います。自民と維新の政権参加の合意書は恐ろしいものです。野党(参政党、保守党は除く立憲民主党、国民民主党・社民党・公明党・共産党)で力を合わせ日本の保守化を阻止する必要があります。

2025・11・12

とうとう高市総理が本性を露わにしました。台湾有事で艦船を使ったり、武力の行使がある場合は「存立危機事態」として「集団的自衛権」の発動もあり得る事を匂わせる発言をしています。集団的自衛権を行使すれば相手は反撃します。そして日本が「戦争」に捲き込まれることを意味します。それで良いのでしょうか？何時も思うのですが防衛力をどこまで強化すれば安心なのか。いくら防衛力を強化しても日本が勝てる保障は有りません。戦争が激化すれば「核兵器」が使われる可能性が大きくなります。その事が念頭にあ

るのか「非核三原則」の見直しに着手すると
しています。黙っていて良いのでしょうか
？ 参政党や保守党は喜んで賛成することは
目に見えています。保守(右翼?)が一丸となっ
てその政策を実現しようとするのは必至で
す。我々はどうするべきか考えたいもので
す。立憲民主党・国民民主党・公明党・社民
党・共産党・連合などが一体となって彼らの
暴走を阻止しなければ、戦前回帰になってし
まいます。スパイ防止法案は戦前の「治安維
持法」を想起させます。最終的には連合が抗
議集会を開くことを「反国家」の名のもとに
弾圧することも考えられるのです。お互いに

平和と国民の安全を守る事を真摯に考えてみましょう。被爆地ヒロシマで参政党が多くの票を獲得したことは残念でなりませんし、彼らの本質を理解しておれば、そのような事態にはならなかったと思います。非核三原則すら変更されそうな今こそ、ヒロシマは深く考え行動する事が求められているのではないかと思います。いずれにしろ高市総理(自民党)参政党・保守党の口車に乗ることなく真剣に現状を見つめ行動しましょう。

2025・11・15

高市総理の失言により(本音ですが)中国がいろんな経済制裁を仕掛けています。そのこと

ばかり報道されていますが、この問題は大陸のことではなく我々の平和と命の問題です。あのような考えを持っていることが戦争への道に繋がるのだと言う事を真剣に検証する必要があります。極右の呼び名がぴったりの高市総理の発言ですから深刻です。高市総理が日本の最大の右翼団体「日本会議」「日本会議・国会議員懇談会」に加入していることは以前に述べました。自民党自体が日本会議に取り込まれていると言っても過言ではありません。何故なら、閣僚のうち12名以上が日本会議の会員ですし、自民党の国会議員200名以上が会員です。靖国神社参拝、国民より国

家が大切という思想、憲法改正、戦後教育の否定などを標榜する「戦前回帰」の発想は怖いです。そういう団体の役員までしている人が本当に日本の平和と国民の命を守ってくれるのでしょうか疑問です。スパイ防止法は必要ですか、国旗損壊罪は必要ですか、憲法九条の改正が必要ですか、安保三文書の改訂は必要ないです(非核三原則の見直しなど) 言えはいろいろありますが、今日はこれぐらいで止めます。

2025・11・23

22日に4人打ちの麻雀をして、久しぶりでもあり楽しかったのですが、後がいけません。26日になって私を除く3人がインフルエンザに感染しました。大体、3日くらいで潜伏期間が過ぎて発病するそうです。今日で8日目なので発病していないと言う事は、何とか感染をまぬかれたようです。熱も高熱ではなく36・9ですから大丈夫でしょうね。くじけず麻雀は続けます。

2025・11・30

85年の人生を振り返った時、余り良い思い出はありません。「あの時にあぁすれば良かった

た」という反省が多いです。そういう中にもあっても楽しかった事もあります。高校を卒業して、郵政研修所普通部で1年間、100名の仲間と寝食を共にしました。給料を受け取りながらの勉強でしたから、本当に楽しかったですね。全逓の役員を退任した後、全逓共済生協の、地方部長をさせて貰ったのですがその4年間も、非常にやりがいがあり、楽しかったです。60才の定年後は沖美町で単身生活をしました。妻のふるさとでもあり、新婚の時9ヶ月間は沖美町に住んでいたのも、思い出もあって充実した7年間を過ごすことが出来ましたね。船を買ったり、呉方面の友達が

来て、麻雀も頻繁にやりました。67才からは全通退職者会広島地区退職者会の会長を6年間勤めました。全国会議に出席すると、現役時代に苦労を共にした仲間に会い、旧交を温める事も出来ました。73才からは広島県退職者連合の会長を9年間勤めました、82才の時、急に体調が悪くなり、退任しました。その後は顧問を仰せつかっております。今も楽しくやっています。

2025・12・6 気温11度、風も吹き、まさに冬。その寒さの中「シムラ病院」に向かう。外科専門、特に腰の治療で、名が知ら

れているとの事。腰の痛み、足全体の痺れと痛み、歩行の困難などの症状があり、自分のことは自分で出来るとは言え不自由極まり無い。

先生にいろんな話を聞き、手術をする方向で結論を出す。手術は年明けとなる。不安もあるけど決断する。

2025・12・13

久し振りに麻雀をしましたが負けました。親の時に倍満を振り込み、ケチが付きました。四暗刻もテンパイはしましたが上がれず。最近、頭のキレが悪くなったように思うので、そのせいかも知れません。どうも体調が良く

ありません。腰とか足が悪いのがありますが、全体的に衰えているのです。滑舌も悪く耳も遠くなり、目も掠れ気味です。100才を目指しているのですが自信がなくなりました。卒寿会に参加していますが90才がやっとではないか??86才になるので90才は固いと思います。それでも、認知症には気を付けています。目標を下げるようでは良くないので、従来通り100才までという目標は堅持します。今から地域包括支援センターの担当者が来られます。リハビリの状況を話し合うことになります。しっかり聞いてリハビリを頑張ります。

2025・12・22 手術が決まりましたので、年明けは忙しいです。うまく治らなければ、再度の手術もあるとか麻酔が原因で一時的に認知症の症状が出るかも知れないとか、脅かすようなことを言うので、ちょっと気分が悪かったのですが、予定通り中旬に手術を行います。

「86年の歩み」欄を設けましたので、気が向かれましたら目を通してください。

2025・12・27

おめでとうございます。皆様にとって今年が良き年でありますよう祈ります。歳

を重ねるのは「アツ」というまでです。友達も少しづつ減っていきます。今の友達・友人を大切にしたいと思っています。私は82才の時、急激に体力が衰えました。しゃべるのも億劫でした。それで退職者の会の役員も辞めました。しかし、不思議なことに、しばらくすると元気になりました。何故か判りませんが、たぶん気持ちの持ちようだったのではない

いかと思います

す。今年は気持を強く持ち、頑張っていきます。

2026・1・1

正月も終り、新たな気持ちで頑張っていこうと思います。昨年末から4日まで飲みすぎたので、普段通り一日缶ビール500ml一本の生活に戻ります。昨日は島根の旧友から電話がありました。全通の時代に一緒に活動した仲間でもあり、懐かしかったです。手術の日が近づいており、準備で忙しくしています。デイサービスにも明日から通います。

2026・1・5

昨日は卒寿会を開催し、食べて飲んで歌いました。会員が全員そろったので盛会でした。

た。会が出来て2年が過ぎ、3年目に入りました。今後も継続します。

米国のトランプ大統領によるベネズエラへの攻撃は衝撃的でした。弱肉強食時代の復活です。ロシアのウクライナへの侵略、中国の東・南シナ海での威圧行動などが勢いづくのは必至です。

そんな中、高市総理が解散に踏み切るのではないかとの報道がありました。それも、今月の23日、通常国会冒頭ではないかと言われていきます。残念ながら現状では野党の苦戦が予想されます。高市総理が右翼団

体の構成員であることを忘れてはなりません。その思想が、台湾有事に関する発言、スパイ防止法案の策定、非核三原則の見直しなどの動きに現れています。集団的自衛権の行使を法制化すれば、あっという間に戦争にまきこまれることとなります。選挙を通じて、このようなキナクさい流れを変える必要がある
のですが、どうでしょうか。

24日まで更新を休みます。

2026・1・11

脊柱管狭窄症の手術が無事終了し、今日退院しました。10日間入院していたので歩くと少しふらつきます。直ぐには効果は現れないようですが、少しずつ回復することです。「良かった」と言えるのは少し先です。

2026・1・24

歩くのは3000歩でも、痛くならないのですが、立つ動作が多いと腰が痛いですね。例えば、掃除機をかける時や立ってシャワーを浴びると腰が痛みます。手術が成功したとは言え、3ヶ月はリハビリが必要だと思います。デイサービスは先週の金曜日に行きましたが、何ともありませんでした。明日も参加します。

2026・2・2

衆議院選挙は大変なことになりました。これから先どうすれば良いのか? さんざん考えま

したが、なかなか結論が出ませんね。二者択一・今のまま反省点を改善して「中道改革連合」で行くのか、全てをゼロにして新たな政党を結成するのか悩むところです。中道は比例で1000万票(18%)を獲得しており、これを大切にするかどうか、従来の立憲支持者のうち、56%しか取り込めていない=安保三文書に対する評価を変更したこと、原発への対応が後退したこと=が原因とみられています。野田さん、斎藤さんが並んでテレビに出ると立憲と公明が頭に浮かびます。新鮮さが全くなく「何かに期待する感」が無かったですね。党名も長すぎます。短期決戦ですから「判り

やすさ」が必要なのに・・・残念ですね。どちらかと言えば、平和・民主主義・国民の安全等が政治のキモだと思うので、理念まで曲げて公明にすり寄る事が許されてよいのか。もろもろ考えると「新党・改革」(仮称)を立ち上げ高市政権と対峙する方が良いように思えます。もう少し考えてみます。

2026・2・11

先日、テレビで日本男性の最高齢の人が111才で亡くなられたことが、報じられていました。何か変な気がしましたね。私が目指している100才と余り違わない感じがしたからで

す。良く考えてみると「焦り」だったので
す。100才になったら10年しか生きられない
のか・・・と言う焦りです。100才は行けるの
ではないかと逆に自信を持ってしまったのも
事実です。今のところ、毎日3000歩の散
歩、週二回のデイサービス通所、月1回の麻
雀、平均月1回の飲み会、ホームページの更
新、読書などでの認知症予防と体力強化のお
陰で「70才前半」だとのお墨付きを理学療
法士二人から、頂いているので自信になりま
す。本気になって頑張ります。

2026・2・20

この世界はどうなるのだろうか。米国のトランプは頭の血管が切れているのではないかと思います。大統領令に署名しては自分の思う通りに事を進めようとしています。国内では政敵を徹底的にたたき、関税を乱発し世界を混乱させています。ベネズエラを爆撃し元首を拘束。とうとうイランを爆撃し、多数の子供たちを殺傷しました。最高指導者ハメネイ師を殺害したとのこと。カナダを51番目の州にしたいと言ったり、グリーンランドが欲しいと言ったり、個人の欲望を満たすた

めに法と正義と秩序を破壊しています。
民主国家と言われてきた米国の面影は消えてしまっています。「力があれば何でもできる」と思っているようですね。地球が滅びるのは星の衝突か、自然災害か、核戦争だと思います。前二者は防ぐのは難しいと思いますが、現状を見ると「核戦争もありうる」と思わざるを得ません。理不尽な攻撃に対抗するために、核を使う国があるだろうことは否定できません。軍備を増強すれば日本を守れるというのは幻想にすぎないと思います。どこ

まで軍備を増強したら日本を守れるのか、聞いてみたいものです。世界的に右傾化が進んでいます。それは「力による秩序」という思想だろうと思います。

日本でも右翼団体の構成員である高市が総理大臣になって、スパイ防止法案の提出、憲法改正の促進、武器輸出の緩和、安保三文書の改定等が進められています。これらは戦争準備と言っても過言ではありません。戦争になって一番被害を受けるのは現役世代です。戦争に行くのも現役世代です。社会保障の話になると現

役世代の負担軽減に名を借りて、高齢者の年金を据え置き、医療費の窓口負担を増やす、介護保険料の引き上げまでも言及しています。現役世代もいずれ高齢者になることを忘れているのでしょうか。何故、熱狂的に高市内閣を支持するのか疑問です。

2026・3・1

先日、後輩と色々な話をする機会がありました。はっきり言って右翼団体の構成員である高市が、何で支持されているの

かの話になりました。野党がつまらないからだと言えばそれまでですが、果たしてそうでしょうか。現役世代の考え方に問題があると思います。後期高齢者は、しっかりと年金保険料と健康保険料とを払ってきました。今になって、現役世代の機嫌を取るために、必要な財源を高齢者に負担させる発想は如何なものでしょうか?? 平和の問題にしても、そうです。戦争が出来る国に突っ走っている高市が皆を守ってくれているとの幻想を持っているのなら「どうぞ」と言いたいです。

戦争になって苦しむのは「あんただろう」と言いたいね。後期高齢者になって苦しむのは「あんただろう」と言いたい。抽象的な咆哮に惑わせられない様に頭を使って欲しいとつくづく思います。

2026・3・7

自民一強で心配していたことが起きています。予算案の審議もまともにせず数の力で押し切ってしまいました。参議院では少数与党ですが、否決されても衆議院で、再採決すれば予算案は成立します。

このようにして国民にとっての懸案事項は、一方的に決められていきます。高市政権が誕生して、右寄りの政策が次々に出されています。スパイ防止法案、集団的自衛権の法制化、憲法第九条の改正、武器輸出の緩和、ホルムズ海峡への自衛隊の派遣??などです。これらは日本が再び戦争に巻き込まれる危険性を孕んでいます。これに歯止めをかける政党がいません。立憲に期待していたのですが、公明との連携を急ぐあまり、理念を変えてしまったから期待が持てなくなりました。

中道改革連合はリベラルではないと判断され、惨敗しました。理念を変えなければ立憲のままに戦っていたら、議員数は減少したでしょうが、今よりはましだったのではないかと思います。そうであればリベラルの灯は守れたのではないかと思いますね。高市総理の訪米に注目しています。不利な要求を呑んででも日米関係は良好であると言い張るのでしょう。

2026・3・16

事

